

ID: @PATIENTID

患者氏名(@PATIENTNAME 様)

胃内視鏡的粘膜下層剝離術(胃ESD)

担当医師()

担当看護師()

患者様用

日時経過	治療前日	治療当日(治療前)	治療当日(治療後)	治療後1日目	治療後2日目	治療後3～5日目	治療後6～9日目
達成目標	手術を理解し同意している 手術の前処置を理解できる	手術の準備が整う	誤嚥せず麻酔から覚醒できる 消化器症状(腹痛・吐血・下血)がない		検査を受けて食事が開始できる	中止していた薬を開始できる 消化器症状がなく、食事ができる	
治療・処置 薬剤 リハビリ	今まで飲んでいたお薬があれば主治医の指示で続行か中止か決まります。 (糖尿病薬や抗血栓症薬を内服されている場合は中止する場合がありますので、看護師にお伝えください。) 手術中に弾性ストッキングをはくため、事前に足のサイズを測ります。 	6時に朝の薬を内服してもらいます。看護師が声かけに伺います。 10時より右手から点滴を開始します。胃薬の注射が朝と夕にあります。 弾性ストッキングを着用します。内視鏡室から呼び出し後に、ストレッチャーで看護師が移送します。 	病室に戻ってから、酸素投与と心電図モニターを装着し全身状態を観察します。 手術後は 2時間、横向きでベッド上安静 になります。 安静解除は(時 分) となります。 呼吸の状態により酸素投与は終了しますが、心電図モニターは翌朝まで装着します。 	異常がないことを確認し心電図モニター、弾性ストッキングを外します。 点滴が続きます。胃薬の注射が朝と夕にあります。 	6時に朝の薬を内服してもらいます。看護師が声かけに伺います。 内視鏡室から呼び出し後に、車椅子で看護師が移送します。 検査終了後は酸素投与と心電図モニター装着をし全身状態を観察します。 2時間ベッド上安静 です。 安静解除は(時 分) となります。異常がないことを確認し、酸素・心電図モニターを外します。 	医師の指示で、手術前に中止していたお薬が再開になります。看護師が説明を行います。 点滴が終了となり、胃薬が内服へ変更となります。	
検査	採血・レントゲン・心電図があります			血液検査があります	午前中に胃カメラがあります。	医師の指示で検査が追加になることがあります。事前に説明を行います。	
活動・安静度	制限はありません	点滴開始後より病室内でお過ごしください。	手術後はベッド上安静でお過ごしください。	病棟内でお過ごしください。	胃カメラの結果により、病院内で過ごすことができます。病棟外へはエレベーターをご使用ください。	病院内であれば制限はありません。	
栄養(食事)	病院食以外は摂取しないでください。 ※ 夜9時 以降は絶食となります。水・お茶・清涼飲料水(ポカリスエットなど)は飲めます。	朝6時半 以降は絶飲食となります。	絶飲食となります。 安静解除後はうがいができます。	水・お茶・清涼飲料水(ポカリスエットなど)は飲めます。	朝6時半 以降は絶飲食となります。安静解除後は飲水ができます。胃カメラの結果により、医師の指示で昼または夕より、 流動食 が開始となります。病院食以外は摂取しないで下さい。	徐々に形のある食事になります。食べづらい場合や腹部に痛みや違和感を感じたら看護師へお知らせください。	
清潔	制限はありません。	点滴開始前まで制限はありません。		清拭ができます。	検査結果によりシャワーができます。		食事が全粥に変更になってから、入浴ができます。(土・日・祝はシャワー浴のみ)
排泄	制限はありません。		安静時はベッド上でオムツまたは尿器で排泄になります。安静解除後は看護師付き添いの元、トイレまで歩けます。ナースコールでお知らせください。		胃カメラ後、初回のトイレに行く際は看護師が付き添います。ナースコールでお知らせください。		
教育・指導 (栄養・服薬) ・説明	同意書の確認をします。 	御家族の方は手術が始まる前までに、病棟へお越しください。手術中は病院内でお待ちいただくようお願いいたします。	手術後に痛みや吐き気がある場合はナースコールでお知らせください。	出血の有無の確認のため、 便の色 をうかがいます。初回の便がでた際は、流さずに看護師へお知らせください。	排泄時に力んだり、激しい運動(階段昇降・体操など)は控えましょう。歩行(散歩)は可能ですが、お腹に圧力をかけないようお過ごしください。		医師・看護師より退院後の過ごし方について説明があります。 